

(別紙様式1)

平成28年度の目標及びその達成に向けた活動計画(案)

都道府県名： 秋田県
農業委員会名： 八郎潟町

I 農業委員会の状況(平成28年3月29日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)
総農家数	436
自給的農家数	73
販売農家数	363
主業農家数	73
準主業農家数	108
副業的農家数	182

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	363
女性	16
40代以下	11

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	92
基本構想水準到達者	
認定新規就農者	1
農業参入法人	
集落営農経営	4
特定農業団体	
集落営農組織	4

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	755	58	58			813
経営耕地面積	1,049	17	14	1		1,066
遊休農地面積						
農地台帳面積	755	58	58			813

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 2 9 年 7 月 1 9 日

	選挙委員		選任委員				計	合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦		
農業委員数	8	8	1	1	1	1	4	12
認定農業者	—	7	1		1	1	3	10
女性	—					1	1	1
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数		
認定農業者	—	
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	
40代以下	—	
中立委員	—	

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員			

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成28年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
		813ha	339ha
課 題	八郎潟町農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想では、平成29年度までに集積率を55%にする計画であるが、水準に達していないため認定農業者や集落営農組合等の育成、農地中間管理事業による集積が必要。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積	15 ha	(うち新規集積面積	15 ha)
		目標設定の考え方:		
活動計画	農政担当課と連携し、集落営農組合の新規設立、法人化等の推進と、閑小作の解消を行う。農地中間管理事業を周知する。			

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	25年度新規参入者数	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数
		0 経営体	0 経営体
課 題	公的支援制度をホームページ等を利用し周知が必要である		

※ 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

2 平成28年度の目標及び活動計画

目 標	1 経営体
活動計画	説明会や9月頃の農協座談会等で周知を図るとともに、ホームページ、広報、チラシ等で周知を図る

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (平成28年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	813ha	0ha	%
課 題	所有者の自己保全との認識違いがあり、指導徹底が必要		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
 ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 ha		
	目標設定の考え方:遊休農地全ての解消		
活 動 計 画	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	14 人	8月	8月
	調査方法	全町を調査区域とし目視にて巡回。遊休化している場合は、現地を確認し写真・図面等に記録	
	農地の利用状況調査		
農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	9月～11月	12月～1月	
その他			

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入
 ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない
 ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成28年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	813ha	0ha
課 題	農地の利用状況調査の円滑な実施と遊休農地の所有者への指導徹底	

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
 ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成28年度の活動計画

活動計画	8月に調査区域とし目視にて巡回。遊休化している場合は、現地を確認し写真・図面等に記録
------	--

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入